

地域共生社会の 実現における コラボレーション

～ 地域住民・地方自治体・大学の役割 ～

ますます少子高齢化が進む中で、福祉の問題は多様化・複雑化し、もはや行政や福祉専門職だけではその解決・軽減が難しくなっています。昨年度、国は「地域共生社会の実現」を基本方針として打ち出し、地域の住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制づくりを推進していく方向です。本シンポジウムでは、越谷・草加市内の自治体・地域団体・大学が連携して取り組んでいる地域づくりの事例を報告し、地域共生社会の実現に向けての協力連携体制について考えます。

平成30年

1月20日

13:00-16:00

会場

文教大学 越谷キャンパス
12号館 12104教室

対象者

- 一般市民の方
- 福祉・教育に関心のある方
- 住まい・まちづくりに関心のある方
- 福祉関係者 ●教育関係者等

プログラム

総合司会 青山 鉄兵

13:00	開会(受付12:30～)
13:00～13:05	【開会挨拶】 神田 信彦(文教大学大学院人間科学研究科長)
13:05～13:10	【企画趣旨の説明】 谷口 清(人間科学研究科)
13:10～14:20	【テーマ1】 地域資源の活用～空き家をテコに 講師 NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター代表理事 若色 欣爾氏 講師 創価大学 文学部 西川 ハンナ氏
14:20～14:30	休憩
14:30～15:30	【テーマ2】 地域住民の福祉力を育む～福祉SOSゲームの取組 講師 草加市役所 健康福祉部福祉政策課長 平島 弥生氏 講師 文教大学 人間科学部 森 恭子氏
15:30～15:55	【質疑応答・討論】 進行 文教大学 人間科学部 青山 鉄兵氏
15:55	【閉会挨拶】 神田 信彦(文教大学大学院人間科学研究科長)
16:00	閉会

主催：文教大学大学院人間科学研究科

後援：草加市役所・草加市社会福祉協議会・越谷市役所・越谷市社会福祉協議会